

ゆず肌 (Orange peel)

1 . 現象

スプレー塗装した際に、塗面がみかんの皮のように凹凸になる現象。

2 . 原因

a . シンナーによる場合

溶解力の悪いシンナーの場合は塗料粘度が低くならないことや、蒸発速度の速いシンナーを使用した場合は塗膜面が平滑になる前に乾燥するため、ゆず肌となり易い。

b . 塗装粘度が高い場合

スプレー時の微粒化が悪くなり、ゆず肌になりやすい。

c . 塗装距離が不適性な場合

厚膜塗料などチクソトロピック性の高い塗料は流動性が少ないため、スプレー時のガンと被塗物の距離が近すぎるとゆず肌になりやすい。また必要以上の高圧でスプレーすると風圧でゆず肌になりやすい。

上塗塗料や乾燥の早い塗料は、被塗物との距離が遠い場合にゆず肌になりやすい。

3 . 調査方法

a . スプレー塗装を実施し、ゆず肌になるか確認する。

4 . 対策

a . 適正シンナーを使用する。

b . 塗装適性粘度に希釈する。

c . 装距離を確認しながら塗装する。又は、塗装圧力などの条件も確認する。